

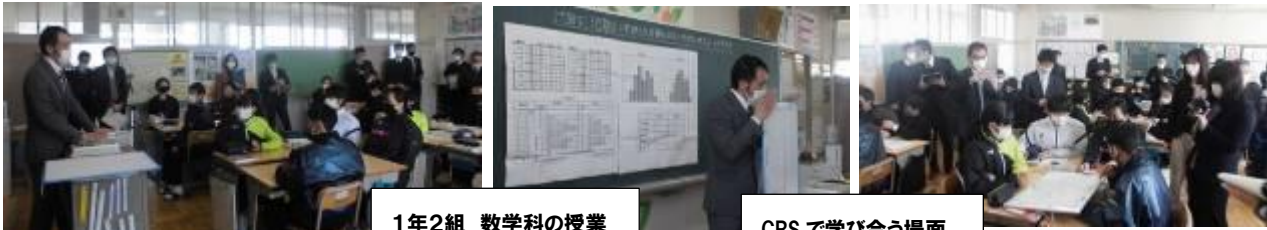
# 雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

## CRSを合言葉に額中第2期黄金時代を築きましょう



### 校内授業研修会 3月11日(木) 講師:玉置 崇 教授(岐阜聖徳学園大学)

「学びに向かう力」を発揮する生徒が育っています。生徒も教師もやる気に満ちた表情が素晴らしいです。



1年2組 数学科の授業

CRSで学び合う場面



全体で考えを共有する場面



個別指導(校長室で)

研究協議会(会議室で)

3月11日(木)の5限に1年2組で数学科の授業研究を実施しました。講師に岐阜聖徳学園大学の玉置崇教授を招き、研究主題『「学びに向かう力」を発揮する生徒の育成～小集団の学習を核とした授業への転換～』を意識した授業を公開しました。授業後、校長室で玉置教授から授業者のT先生への個別指導の時間を設定しました。「3月の年度末に授業研究、ありがとうございます。統計に関する授業実践はあまりありませんので、価値ある授業公開になりました。生徒が真剣に課題に取り組み、『学びに向かう力』を発揮している姿を見せてくれました。2列跳びか3列跳びかの結論を出すのが難しい課題に、生徒はCRSで学び合っていました。どちらかに決められないことに焦点化し、どうしたらよいかを考える場面に時間をつくると、もっと活発な意見交流になるかもしれません。先生が生徒の考えをCatchしResponseして生徒の主体的で対話的な学びを支えていました。」とご指導をいただきました。

#### 研究協議会では、次のことを教えていただきました。

- ・4人のグループで、生徒が自然にかかわり合っている姿が素晴らしい。居場所があり、安心して授業に取り組んでいます。生徒同士、生徒と教職員の信頼関係が築かれている証拠だと思います。
- ・「2列跳び、3列跳び、迷っている」の三つで生徒の考えを分類しようとする場面では、「2列跳び」を確認するのではなく、「迷っている」から質問すると、その理由を考え、決め手となる情報の必要性に気づくと思います。
- ・文部科学省は、10年後、「令和の日本型学校教育」を目指しています。新型コロナによって「学校って何」について真剣に考える機会を与えられました。常に「何のために」を意識して教育活動を見直すことが大切です。
- ・教育の成果は、なかなか数値で表すことが難しいと思います。子どもの姿で語るしかありません。研究の成果も地道に積み重ねるしか目に見える形になりません。今求められているのは、困った時に「どうしたらいいの」と自分からコミュニケーションがとれる生徒を育てることです。生徒とのつながりを意識し、誰一人取り残さない教育を推進することです。自分で自分を振り返ることができるメタ認知力を育てていきましょう。

※玉置崇先生には、2002年の「数学大好き2」の出版をきっかけに出会い、それ以降ずっとお世話になりました。2020年11月11日の研究発表会まで支えてくださいました。2021年3月11日も額田中学校の生徒、教職員のためにご指導してくださり感謝申し上げます。今後ともよろしくお願ひします。

# 最初で最後の1年生への数学の授業への挑戦

3月4日(木)、10日(水)



令和3年3月4日(木)の4限1年2組、3月10日(水)の4限1年1組を対象に、私の最初で最後の数学の授業を行いました。「文字を活用して、方程式のよさに気づこうー辛いことをCRSで乗り越えて、幸せな数学の授業ー」をテーマに、数の決まりを発見する楽しさ、「教えて」と素直に話しかけながら小集団で解決する楽しさ、数学の奥の深さに気づいてほしいと願って授業を行いました。1年生は、よく努力し、素直で、心遣いができ、何でも一生懸命にやる「**努素心啓**」魂があり、お互い支え合う「**人の支え**」を理解している生徒ばかりなので、本当に私自身が数学の授業を楽しませてもらいました。授業の最後の振り返りの中で、下のような感想が書かれていました。一人一人の感想にメッセージを書いて返却しました。

- ・すごく楽しかったです。最初は、全然わからなかったけど、いくつかの例をみていったら、わかって自力でできた。
- ・数学は苦手で、あまり楽しいとは思っていませんでしたが、今日の数学は、すごく楽しかったです。最後はスッキリしました。
- ・最初は、わからなかったけれど、先生の話を聞いているとどうしてそうなるのかがわかり、さらに数学が好きになりました。
- ・グループで教えてもらったら少し納得できたので、もう一度この問題をやりたいです。
- ・だんだんコツがわかってきて楽しかったです。数学は、コツがわかれば簡単に解けていくので楽しいです。
- ・わかるとパズルのピースがはまった時みたいにスッキリしました。約数が関係していることがわかった。
- ・とても難しかったけど、ひらめいたら、すごく簡単に問題ができそうと思った。
- ・32の約数を求めて、m倍とAの年齢をかけると父の年齢になることがわかった。
- ・差を変えて、また違う数字の問題をやってみよう。
- ・最初、解けるか不安だったけど、法則っぽいものを見つけたら、案外と簡単でした。
- ・方程式が一番速く解けると思ったけど、m倍を求めた方が速くていいなと思った。だんだんわかっておもしろかった。
- ・小学校の考え方を使ってやるのがすごいと思った。いろいろな考え方を使うと、新しい発見ができることを知りました。
- ・最初は難しく全然わからなかったけれど、1回ひらめくとすぐにわかって、わかるととてもおもしろかったです。
- ・約数を使うとこんなに簡単にできるとわかったので、小学校のうちに知りたかった。授業がとても楽しかったです。
- ・最初見た時、「なんだ、これ」と答えられる気がしませんでした。校長先生の授業を受けて、難しい問題を簡単に求める方法を知るととても面白かったです。ありがとうございます。
- ・小学生の表と合わせて見た時、 $43 - 11 = 32$ のことがわかって、約数ともつながっていることがわかりました。
- ・最初はわからなかったけど、CRSの班の人に教えてもらって、なるほどと思った。
- ・表のきまりみたいなものがわかるとできた。校長先生の言う通りスッキリ。最初で最後の校長先生の授業は楽しかったです。
- ・方程式の問題はレベルが高くてあまりついていけなかった僕でも、とても楽しめた。後からやり方を理解した時は、こういう感じで問題が解けるんだと、とてもびっくりして、すごいなと思いました。
- ・今日の授業は、みんないつも以上にやる気があって、盛り上がっていたのでとても楽しかったです。最初、全然わからなかったけど、先生や班の人に教えてもらって少し理解できた。年の差の約数が大切であることがわかった。
- ・まったく知らないやり方があるんだとびっくりした。2つの数字をかけると32になると知ったときは、スッキリした。
- ・方程式を使った問題は苦手だったけど、解くことができ、得意になった気がした。数学がとても面白く楽しいと感じた。
- ・方程式を使った問題やm倍などの問題が難しく思えるけど、ルールがわかってしまえば、簡単に楽しかった。
- ・今日の校長先生の授業は、最初わからなかったけど、友達と考えて少しずつ理解できた。最後は自分の力で解けて面白かった。
- ・校長先生の授業は、すごく楽しかったです。数学は苦手だけど、楽しくすることで数学が好きになりました。またやってみよう。
- ・この問題は、約数や正負の数の計算、方程式と、いろいろな要素が詰まっておもしろかったです。CRSをやることで、みんなと協力したり、話し合っって答えを出したりできました。1組の生徒の頑張りをみられてよかったです。(松山先生)